◆◆ 活動日誌から ◆◆

平岡公園夏休みにぎわいフェスタ　8月15日（水）平岡公園　（参加者　83 名）

夏の平岡公園を遊び尽くそう！知り尽くそう！と集まった子供たちの元気な声に、雨雲も吹き散らされて楽しい1日になりました。今年も学生ボランティアの企画で森の生き物クイズラリーからスタート、広場ではおもしろ化学実験やスケッチ・ぬり絵コーナー、カエルとのふれあいコーナーを楽しんでから、水辺の生きもの探検に出発です。タモ網とバケツを手に小川に入った子供たちは、最初は恐る恐る、だんだん大胆になって、**フクドジョウ**や**スナヤツメ**、**オニヤンマ**のヤゴ、**ヨコエビ**等々、大小さまざまな生きものを捕まえました。前日から池に仕掛けたドウに入った魚も合わせて、水槽やタライに入れて観察です。**モクズガニ**や**トミヨ**も人気を集めました。サケ科学館の先生の解説で魚の生態についても学び、魚や虫は捕まえた場所に戻してから解散しました。

◆モニタリングサイト1000　里地調査　2015 年度調査報告

平岡どんぐりの森は、環境省のプロジェクト『モニタリングサイト 1000 里地調査』の一環として、2009 年からカエル類（平岡公園）と鳥類（東部緑地）の調査に参加しています。

◎エゾアカガエル　調査日 ' 15 年 4/1　4/10　4/18　（平岡公園）

エゾアカガエルは年 1 回の産卵期に、産卵可能なサイズの全てのメスが 1 匹あたり 1 つの卵塊を産卵します。卵塊の数を数えることで、その地域に生息するカエルの個体数を把握できます。

2015 年の雪解けは例年よりも 10 日くらい早く、4 月 1 日に人工湿地で**エゾアカガエル**の卵塊 2 個を確認、泣き声や成体もその近くでたくさん見られたが、卵塊数は激減。はらっぱエリアでは昨年水不足のために産卵できなかった場所で、19 個の卵塊を確認しました。梅の香橋下では卵塊数は増加傾向です。この数年確認できなかった上流湿地でも、今年は卵塊 2 個を確認。自然環境が変化する中、モニタリング調査をしながらカエルの様子を見守りたいと思います。

◎鳥類（繁殖期）　調査日 ' 15 年 5/27　6/10　6/21　（東部緑地）

東部緑地の大曲川沿いの遊歩道約1㎞を歩きながら半径 50m以内で確認された鳥類の種名・個体数を記録します。今年は 4 月、5 月の気温が例年より高かったためか、植物の開花時期が 10 日から 2 週間くらい早くなったので、繁殖期の鳥の調査実施日を早めました。鳥の種類はほぼ例年通りでした。6 月 21 日の調査では初めて、**シマエナガ**の幼鳥が鳴きながら枝から枝へと親鳥に付いて飛ぶ姿を見ました。**シジュウカラ**、**ゴジュウカラ**、**ヒヨドリ**の親子連れも餌を探して忙しく飛び回っていました。

◆アオサギ観察会　平岡イオンの森　5/1　5/22　6/19

毎年、春から夏にかけて平岡イオンの森にコロニー（集団営巣地）を作り子育てをしている**アオサギ**を観察しています。平岡高校のご協力で'99 年春から屋上で、北海道アオサギ研究会代表の松長さんを中心に観察会を続けています。今年は 3 月 7 日に 7 羽の初飛来を確認しました。5 月 1 日の観察会ではヒナを確認。5 月 22 日には、まだ抱卵している**アオサギ**や小さなヒナ、すでに大きく成長した幼鳥などをスコープを覗いて確認しました。6 月 19 日には、親鳥と同じ位の大きさに成長して羽ばたきの練習（？）をする幼鳥も見られました。